

(人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

『アルツハイマー病脳における新規老化関連因子群の発現検討』

本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【対象となる方】

2009 年 4 月より 2024 年 8 月までの間に、国立精神・神経医療研究センター病院で病理解剖され、NCNP ブレインバンクでの剖検検体の保管および研究使用に関して同意された方の中から、死後の神経病理学的解析によりアルツハイマー病と診断された方、および 神経変性疾患には該当せず、認知症の診断も受けていない方

【研究期間】 研究開始日より 2030 年 3 月 31 日まで

【研究代表者】 北海道大学・遺伝子病制御研究所

近藤 亨

【研究責任者】 国立精神・神経医療研究センター 病院臨床検査部

高尾 昌樹

【試料・情報の利用目的及び利用方法並びに利用する者の範囲】

アルツハイマー病では、アミロイド β の沈着がタウの沈着を誘導すると考えられていますが、海馬周辺では、タウの沈着が先行することが知られています。本研究では、国立精神・神経医療研究センター病院より北海道大学・遺伝子病制御研究所に、下記に記載の資料・情報を提供し、北海道大学・遺伝子病制御研究所において、近藤らが見つけた凝集性タンパク質 Ecr4 の、アルツハイマー病患者脳における発現と局在および凝集の有無について検証いたします。得られた結果とタウの沈着を含めた病理所見との関連について検討し、アルツハイマー病脳海馬における神経変性機序の解明に貢献いたします。研究は、各機関の研究責任者の研究室に所属し、その管理下にある者により実施されます。

【利用又は提供する試料・情報等】

試料：海馬、側頭葉及び前頭葉皮質の凍結組織並びにパラフィン包埋切片

情報等：付随する情報（性別、年齢、死後時間、疾患名、診断情報、病理解析結果）

提供する試料・情報の取得の方法

試料：ご遺族の同意を得て NCNP ブレインバンクに寄託され保管

情報：ご遺族の同意を得て NCNP ブレインバンクに寄託、保管。一部はカルテの診療録から入手

【利用又は提供を開始する予定日】

研究開始日を予定しています。

【共同研究機関】

作成年月日：2026 年 6 月 15 日 第 2 版

北海道大学・遺伝子病制御研究所

研究責任者 近藤 亨(研究代表者)

国立精神・神経医療研究センター 病院臨床検査部

研究責任者 高尾昌樹

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

所属 病院 臨床検査部 氏名 高尾昌樹

電話番号 042-341-2711(代表)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail: ml_rinrijimu※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)